

埼玉県学力・学習状況調査 (小学校)

# 復習シート 第5学年 算数



組		番号		名前	
---	--	----	--	----	--

## 模範解答

(「測定」「変化と関係」を問う問題)

1 次の問題を解きなさい。

レベル5

(1) まわりの長さが24 cmの長方形があります。たての長さを1 cm、2 cm…と変えていったときの横の長さを調べて、表を完成させましょう。

たての長さ (cm)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
横の長さ (cm)	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

(2) たての長さと横の長さの関係として、あてはまるものはどれでしょう。

- ① たての長さと横の長さをかけると、いつも同じ数になる。
- ② たての長さを横の長さをわると、いつも同じ数になる。
- ③ たての長さと横の長さをたすと、いつも同じ数になる。

答え

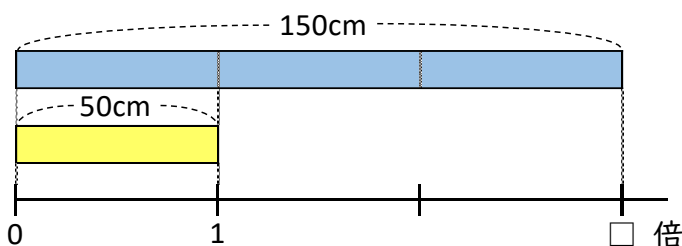
③

2 次の問題を解きなさい。

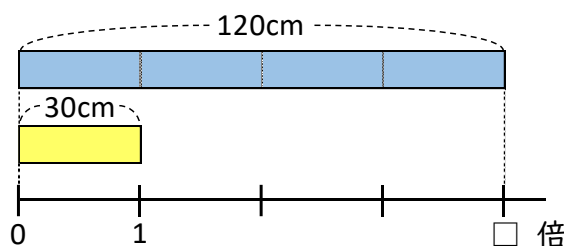
レベル6

50 cmの平ゴムAと30 cmの平ゴムBがあります。平ゴムAは150 cmにのび、平ゴムBは120 cmにのびることができます。どちらのゴムがよくのびたと言えますか。

平ゴムA



平ゴムB



もとにする長さがちがうときは、倍を使ってくらべればよい。

平ゴムAは、 $150 \div 50 = 3$  になり、もとの長さの3倍にのびる。

平ゴムBは、 $120 \div 30 = 4$  になり、もとの長さの4倍にのびる。

このことから、平ゴムBの方がよくのびたと言える。

【別の解答例】 -----

平ゴムAは、 $50 \times \square = 150$   $150 \div 50 = 3$  になり、もとの長さの3倍にのびる。

平ゴムBは、 $30 \times \square = 120$   $120 \div 30 = 4$  になり、もとの長さの4倍にのびる。

このことから、平ゴムBの方がよくのびたと言える。

答え

平ゴムB